
「急性期病院における退院後訪問指導導入の実態調査」に関するお知らせ

このたび、当院を退院され、退院後訪問指導を行った患者さんの電子カルテを用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2025年09月01日から2026年02月28日の期間に退院後訪問指導を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

大規模急性期病院では、多忙な急性期医療の実践の中で退院後の生活を見据えた支援をいかに導入し、継続・定着させていくかが課題です。当院では、退院後の生活を見据えた看護実践能力の向上を目的として、2025年9月より「退院後訪問指導」を新たに導入しました。そこで本研究では、退院後訪問指導の実践状況を整理し、対象者の特徴、訪問の実施状況、および指導内容の実態を明らかにすることを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年11月30日

4. 利用または提供の開始予定日

2026年06月04日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である土屋 栄実が、個人が特定できないよう加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

当院退院後に退院後訪問指導を実施した患者さんの診療記録を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

・埼玉医科大学総合医療センター 患者支援室 土屋 栄実（研究責任者）

・埼玉医科大学総合医療センター 患者支援室 山岸 千春

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 患者支援室 土屋 栄実

住所：〒350-8550 埼玉県川越市大字鴨田 1981 番地

電話：049-228-3841（土日祝日を除く 8：30～17：30）

メールアドレス：tsuchiya.emi.359@1985.saitama-med.ac.jp

○研究課題名：急性期病院における退院後訪問指導導入の実態調査

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 患者支援室 土屋 栄実